

授業科目 装具実習 II (上肢装具実習)

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	義肢
笹本 嘉朝、藤枝 温子、高橋 素彦		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○			○	◎	
【概要・一般目標：GIO】 装具 IV (上肢装具) で習得した知識を基に、製作された装具を、対象者へ正しく適合するのに必要な技術を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 上肢装具の採寸・採型など、装具適合部位の形状獲得作業が的確に行える。 2. 対象となる疾患に応じた上肢装具の設計、デザインを的確に行える。 3. 様々な既製品の上肢装具および自助具を、的確に装着することができる。 4. チェックアウトプロトコルに従って、装具の適合判定を的確に行える。 5. 上肢装具不適合に対処できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1 - 3	手関節装具実習：採寸・採型			1	教員デモと学生による実習
4 - 6	：陽性モデル作成および修正			2	教員デモと学生による実習
7 - 11	：手関節装具製作			2	教員デモと学生による実習
12 - 13	：適合チェックアウトと問題解決			3, 4, 5	教員デモと学生による実習
14 - 16	上腕骨折用装具実習：採寸・採型			1	教員デモと学生による実習
17 - 19	：陽性モデル作成および修正			2	教員デモと学生による実習
20 - 26	：上腕骨折用装具製作			2	教員デモと学生による実習
27 - 28	：適合チェックアウトと問題解決			3, 4, 5	教員デモと学生による実習
29 - 30	既製品上肢装具適合実習：採寸・適合チェックアウトと問題点			1, 3, 4, 5	教員デモと学生による実習
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	なし				
参考書	装具学 II (上肢装具) に準ずる				
その他の資料	単元ごとに必要な資料を配布する				
【評価方法】 学習態度と各工程における技術習得レベルを製作品で評価し、総合的に判断する。			【履修上の留意点】 授業の 1/3 を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。 欠席は 1 回につき - 5 点、遅刻は 1 回につき - 2 点、遅刻 2 回で 1 回の欠席とし最終評価から減点する。		